

高校歴史総合プリント（過去問類似）  
世界史A（旧課程の過去問） No.6

名前

得点

/9

問1 清の全盛期を築いた乾隆帝の治世末期である1793年、自由貿易や交渉窓口の拡大を求めてイギリス政府から派遣されたが、三跪九叩頭の礼などの儀礼問題をめぐって対立し、交渉に失敗した使節の代表は誰か。（2011年 全国公立入試 類似）

1. マカートニー 2. ポッティンジャー 3. エルギン 4. アマースト

問2 19世紀後半にフランスの外交官レセップスの指導のもとで建設され、地中海と紅海を結ぶことで東西交易を劇的に変化させたが、その建設・買収をめぐる財政難が、のちにエジプトがイギリスの事実上の支配下に置かれる契機となった運河は何か。

（2006年 全国公立入試 類似）

1. キール運河 2. コリントス運河 3. パナマ運河 4. スエズ運河

問3 清末の中国において、列強による分割の危機に対して無為無策な王朝を打倒するため、ハワイで興中会を組織した人物が、のちに東京で複数の革命団体を統合して結成した組織の名称として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。（2022年 全国公立入試 類似）

類似）

1. 中華革命党 2. 中国共産党 3. 中国同盟会 4. 中国国民党

問4 冷戦期の西ヨーロッパでは、経済的な結びつきを強めて国際的地位を向上させる試みが進められた。1950年代に設立されたヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）、ヨーロッパ経済共同体（EEC）、ヨーロッパ原子力共同体（EURATOM）の3つの共同体は、1967年に主要機関が統合され、より強固な協力体制へと移行した。この統合によって誕生し、のちにマーストリヒト条約を経てヨーロッパ連合（EU）へと発展することになる組織の名称を答えよ。（2009年 全国公立入試 類似）

1. ヨーロッパ経済共同体 2. ヨーロッパ連合 3. ヨーロッパ共同体 4. ヨーロッパ自由貿易連合

問5 10世紀後半に中国を統一した王朝は、建国当初から北方の勢力の脅威にさらされていた。1004年、この王朝は北方王朝との間に、毎年多額の銀や絹（歳幣）を贈ることを条件に国境を画定し、平和を維持する盟約を結んだ。この盟約を何とよぶか。

（2006年 全国公立入試 類似）

1. 澶淵の盟 2. 渭水の盟 3. 紹興の和議 4. 慶暦の和約

問6 第二次世界大戦中の1941年12月に真珠湾を奇襲して太平洋での戦闘を開始した日本は、当初は東南アジアや太平洋各地に進出して優勢を保っていた。しかし、1942年6月にハワイ近海の要衝をめぐって行われた戦闘で、主力空母4隻を失う大敗をアメリカ海軍に喫した。これにより太平洋戦線における攻守の主導権が逆転することとなった、この契機となった海戦は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

類似）

1. ソロモン海戦 2. レイテ沖海戦 3. マリアナ沖海戦 4. ミッドウェー海戦

問7 1947年の英領インドの分離独立直後から、ヒन्दゥー教徒の藩王が支配する一方で住民の多数派がムスリムであった北西部の地域をめぐり、新たに誕生した二つの国が領有権を主張して武力衝突を繰り返した。この地域をめぐる紛争を何とよぶか。

（2025年 全国公立入試 類似）

1. キプロス紛争 2. ルワンダ紛争 3. カシミール紛争 4. ソマリア紛争

問8 1917年、首都ペトログラードでの食料不足を契機とするデモやストライキから発展し、ロマノフ朝の帝政を崩壊させ、その後に臨時政府とソヴィエトの二重権力状態を生み出す契機となった歴史的出来事は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 二月革命 2. 十月宣言 3. 十月革命 4. 七月暴動

問9 第一次世界大戦は、前線の戦闘員だけでなく植民地の人々をも巻き込む総力戦となった。この大戦において、戦後の自治を約束される見返りとして、100万人以上の兵士や多大な物資を動員され、ヨーロッパや中東などの戦線へ送られた、当時のイギリス最大の植民地はどこか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. インド 2. マラヤ 3. ビルマ 4. ケニア

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 1 マカートニー	イギリスは産業革命による生産力の増大を背景に、清との片貿易を改善し市場を開拓するため、1793年に使節を派遣した。使節の代表は熱河の避暑山荘で乾隆帝に謁見したが、清朝側が求めた臣下の礼（三跪九叩頭の礼）の簡略化をめぐって対立し、貿易制限の緩和や開港地の追加といった要求はすべて拒絶された。
問2	答え 4 スエズ運河	1869年に開通したスエズ運河は、アジアとヨーロッパを結ぶ大動脈となったが、エジプト（ムハンマド・アリー朝）はその建設費や近代化政策による多額の負債を抱えることとなった。1875年、エジプトの財政危機に乗じてイギリスのディズレーリ内閣がスエズ運河会社の株式を買収し、これがのちのイギリスによるエジプトの事実上の保護国化へとつながった。
問3	答え 3 中国同盟会	孫文は1894年にハワイで興中会を結成し、その後、日露戦争後の1905年に東京で光復会や華興会などの革命諸団体を統合して中国同盟会を結成した。この組織は「驅除韃虜、回復中華、創立民国、平均地権」の四綱領を掲げ、清朝打倒と共和政樹立を目指した。立憲君主政への移行を目指す変法派とは対立した。
問4	答え 3 ヨーロッパ共同体	1950年代に発足したECSC、EEC、EURATOMの3組織は、1967年に主要機関が統合されてヨーロッパ共同体（EC）となった。ECは市場の統合や共通政策の実施を進め、1993年のマーストリヒト条約発効に伴い、より広範な協力を目指すヨーロッパ連合（EU）へと移行した。1967年という発足時期は、冷戦期の東西対立や、アメリカ・日本に対する西欧諸国の経済的自立の模索という背景と深く結びついている。
問5	答え 1 澶淵の盟	北宋は、建国当初から北方の契丹（遼）との対立が続いていたが、軍事的な劣勢を補うため、1004年に和平交渉を行った。この結果結ばれた盟約により、北宋は遼を兄、自らを弟とし、毎年多額の銀や絹を歳幣として贈ることで平和を維持した。この外交政策は財政を圧迫する要因となったが、長期間の平和をもたらした。
問6	答え 4 ミッドウェー海戦	1941年12月の真珠湾攻撃によって始まった太平洋戦争において、日本軍は当初優勢に戦いを進めたが、1942年6月のこの海戦で主力空母4隻とその熟練搭乗員を多数失う壊滅的な打撃を受けた。これにより、アメリカ軍が反攻に転じる契機となり、太平洋戦線における日米の攻守の転換点となった。
問7	答え 3 カシミール紛争	1947年にイギリスからインドとパキスタンが分離独立した際、両国の国境地帯に位置するカシミール地方の帰属をめぐって第一次印パ戦争が勃発した。カシミール地方はヒンドゥー教徒の藩王が支配していたが、住民の多数派がムスリムであったため、両国が領有権を主張して係争地となった。この地域をめぐる対立はその後複数回の印パ戦争を引き起こす原因となった。
問8	答え 1 二月革命	1917年（ロシア暦2月）にペトログラードで発生した暴動を契機にニコライ2世が退位し、ロマノフ朝の帝政が崩壊した。この事件により、ブルジョワジー主導の臨時政府と、労働者・兵士によるソヴィエトが並立する「二重権力」の状態が形成された。
問9	答え 1 インド	第一次世界大戦は総力戦となり、イギリスは自国の最大の植民地であったインドから多くの兵士や物資を動員して戦場に送った。イギリスは動員の代償として戦後の自治を約束（モンタギュー宣言）したが、戦後に制定された1919年インド統治法による自治が不十分なものであったため、大戦後はガンディーらを中心とする反英独立運動が激化することとなった。